

# 令和4年度 集落支援員の導入について

令和3年度第5回浜益区地域協議会資料



浜益支所地域振興課

# 集落支援員について

## 集落支援員

**地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材**が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施

※令和2年度 専任の「集落支援員」の設置数 **1,746人** ※自治会長などとの兼務の集落支援員の設置数 **3,078人**

〈専任の「集落支援員」の属性〉 約4割が60代、約5割が元会社員・元公務員・元教員、約9割がそれまで暮らしていた地方自治体で活動

・地方自治体⇒集落支援員を設置し、集落支援員と協力して集落対策を推進(下記フロー図のとおり)

・総務省 ⇒地方自治体に対して、**財政措置(特別交付税措置)**、情報提供等を実施

〈特別交付税措置〉

○措置額 … 集落支援員1人あたりの上限額 **・専任※ 430万円** ・兼任 40万円

※兼任の場合であって、集落支援員としての活動に従事する時間が週あたり15時間30分以上である旨を設置要綱等に規定して委嘱する場合を含む。

- 対象経費… ①集落支援員の設置に要する経費、②集落点検の実施に要する経費
- ③集落における話し合いの実施に要する経費
- ④地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策に要する経費

## 地方自治体の取組のフロー

### ■集落支援員の設置

- ・地方自治体の委嘱により「**集落支援員**」を設置。
- ・集落支援員は、市町村職員とも連携し、集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握等を行う。

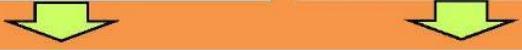


### ■集落点検の実施

- ・集落支援員は、市町村職員と協力し、住民とともに、**集落点検**を実施

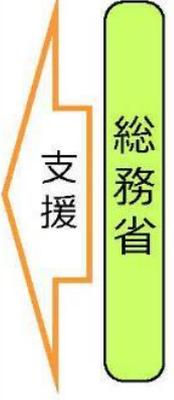
### ■集落のあり方についての話し合い

- ・住民と住民、住民と市町村との間で集落の現状、課題、あるべき姿等についての**話し合い**を促進(「集落点検」の結果を活用)



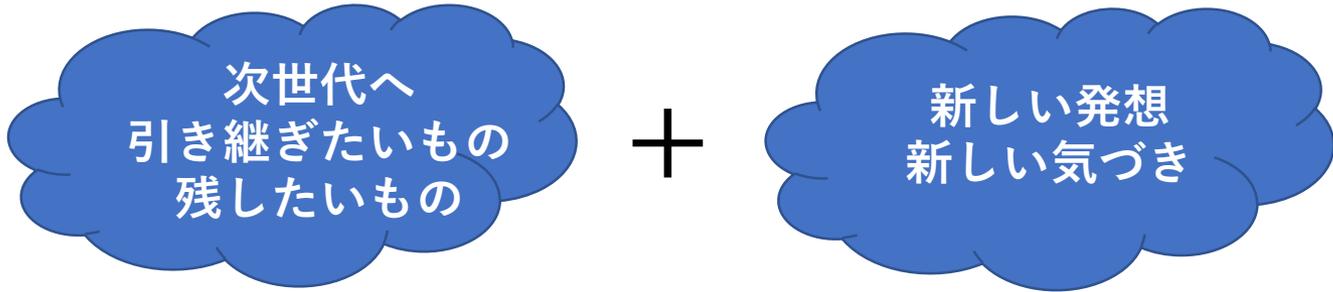
### 〈 集落点検や話し合いを通じ必要と認められる施策 〉

- ①デマンド交通システムなど地域交通の確保、②都市から地方への移住・交流の推進、③特産品を生かした地域おこし、④農山漁村教育交流、⑤高齢者見守りサービスの実施、⑥伝統文化継承、⑦集落の自主的活動への支援 等



# 集落支援員・地域おこし協力隊の違い

	集落支援員	地域おこし協力隊
求める人材	地域の実情に詳しい <b>内部の人材</b>	3大都市圏など都市部の <b>外部人材</b>
活動期間	制限（上限）なし	3年を上限とする
活動内容	集落の点検や現状把握が基礎的活動	地域に居住しての幅広い地域協力活動
<b>共通：地域課題の解決・地域おこし活動</b>		
兼務・副業	他の役割との兼務が可能	活動に支障のない範囲で副業を認める
求められる成果	点検等を踏まえた必要な施策の実施	活動地域への定住・定着



集落支援員と地域おこし協力隊を採用することで  
相乗効果が期待される

# 集落支援員の取組事例と浜益区内における活動事例との比較

## 集落支援員～取組事例～①

### 青森県中泊町

平成30年度：2名（うち専任2名）

**【概要】**  
2人でチームを組み、地域自治組織とともに活動しており、地域住民との相談や話し合いにより地域の魅力や課題を見つけ、空き家・空き地の解消や高齢者の見守り等に取り組んでいる。

**【活動内容】**  
空き家や人口・世帯調査のほか、地域の課題を把握するためのアンケート調査、高齢者の見守り、空き家・空き地情報のデータベース化を実施。さらに地区懇談会を1か月に1度のペースで開催している。

**【ポイント】**  
2名とも地元出身者で地域住民の信頼も厚いことが、集落点検等を円滑に実施できる要因となっている。



（地区懇談会）

### 宮城県気仙沼市

平成30年度：5名（うち専任4名）

**【概要】**  
市内5か所のまちづくり協議会に1名ずつを配置。まちづくりに係る課題の調査のほか、課題解決へ向けた取組等を支援している。

**【活動内容】**  
地域点検や、住民同士の話し合いに向けた環境整備、被災者との交流行事、まち歩き、地域のお祭り、子供の体験学習といったまちづくり活動の企画等を行っている。

**【ポイント】**  
まちづくり協議会を活動拠点とし、若者を含む地域住民を上手に巻き込むことで、持続的な活動につなげている。



（漁業体験学習）

### 山形県金山町

平成30年度：2名（うち専任2名）

**【概要】**  
5地区からなる西郷地域に2名を配置し、高齢者の見守り活動や、地域のにぎわい創出等に取り組んでいる。

**【活動内容】**  
独居高齢者や高齢者世帯を訪問し、近況や生活上の課題の聞き取りを実施。また、地域新聞を隔月で発行し、全戸配布しているほか、廃校を活用して、子どもの遊び場や地域の話合いの場を創出している。

**【ポイント】**  
地域住民が集まる場に積極的に参加することで、より多くの意見や要望を聞き取り、地域のニーズを分析し、共有している。



（西郷地域のワークショップ）

### 福井県福井市

平成30年度：2名（うち専任2名）

**【概要】**  
人口減少や高齢化が進む中山間地域に2名を配置。地域の状況を把握し、課題の解決や活性化に向けた取組を展開している。

**【活動内容】**  
高齢者世帯の訪問・声かけ、住民や自治会からの相談対応、市や住民が行う行事等の運営支援、農作物の栽培及び販売サポート等を実施している。

**【ポイント】**  
地域の実情に詳しい集落支援員が、集落点検にとどまらず、地域住民による組織や県内外の大学等と連携しながら、地域の活性化に向けた諸活動に携わっている。



（大学生が地域行事に参照）

## 浜益区内の活動事例

・各種団体等による様々な活動の積み重ねを通じ、地域課題の解決の糸口を探る



まちなか探検（まち協）



ニシンの網外し（漁業体験）

### ※ 総務省資料

※人数は各市町村における集落支援員の総数（特交ベース）であり、上記の取組以外の活動を行っている集落支援員も含まれる。



高齢者の暮らしアンケート（試行）



地域協議会でのワークショップ（ezorock）



地元生徒と大学との連携（藤女子大学）



お祭り参加（札幌学院大）



農業支援（ezorock）

# 集落支援員への期待

## 集落支援員に担ってもらいたい役割

- 人材確保
- 住宅確保
- 情報過疎



移住定住アドバイザー  
 空き家バンク/遊休施設の運営支援/ワーケーションの推進

地域の巡回・点検活動、困りごとサポート  
 集落の教科書、生活・就労支援、ITによる地域課題解決サポート

## 浜益区内で活発化する事業等



ワーケーションの推進



住民アンケート/地域課題の聞き取り  
 /空き物件探し/生活サポート/就労支援



浜益版「集落の教科書」製作に向けた取材活動

### 集落の教科書

良いことも  
 そうでないことも  
 ちゃんと伝えたい

誰いルール

ゆるいルール

慣例や風習

消えつつあるルール

改善に向け考え中

※発行：世木地域振興会（京都府南丹市）他  
 編集：NPO法人テダス

